

あしきた 7

<http://www.ashikita-t.kumamoto-sgn.jp>

2005.7.15 No.7



しろやまスカイドームで熱唱
NHKのだ自慢

NHK

のど自慢が やってきた



鉄砲隊の衣装で登場



予選会トップバッターは黄門様



社会福祉協議会のみなさんも出場



「涙そうそう」を歌って見事予選通過



空手着で熱唱



予選会の時差再生で自分の歌う姿を確認する人も



まちのデンキ屋さんも熱唱



デコボンハウスとうたせレディース船を取材する宮本アナウンサー

11日の予選会には、約700通の応募の中から抽選された250組が出場し、自慢ののどを披露しました。午後1時にスタートした予選会は5時間に及び、短い持ち時間の中で、熱唱する人、ユニークなパフォーマンスや衣装で会場を沸か

せる人など、さまざま。楽しい予選会となりました。また、この日は、司会の宮本隆治アナウンサーが町内を取材。うたせ船の計石港と田浦のデコボンハウスを訪れ、特産の海産物とデコポンを賞味されました。12日の本番には、予選を

見事勝ち抜いた22組が出場。町内からも8組が出場しました。今回のゲストは、島倉千代子さんと大川栄策さん。会場に詰め掛けた観客は約2000人。大観衆の中で本番がスタートしました。

40年から50年に1度しか来ないといわれる「NHKのど自慢」が、平成9年以来8年ぶりに芦北町の開町を記念してしるやまスカイドームで開催され、6月26日に放映されました。



本番スタート（出場22組が勢揃い）



島倉千代子さん



しっかり うたせ船をPR



開場を待つ長蛇の列



夫婦仲良くデュエット



大川栄策さん



ユニークな振り付けで会場を沸かせてくれました



今週のチャンピオン



会場を埋め尽くした2000人の観衆

元村深雪さんパラグアイへ

〳日系社会シニア・ボランティア〵

南米パラグアイ共和国に、JICA（国際協力機構）の日系社会シニア・ボランティアとして派遣される元村深雪さん（湯浦北）が、出国を目前に控えた6月14日、竹崎町長を表敬訪問されました。

元村さんは、10年前に日系社会シニア・ボランティア制度を知り「いい制度があるな」と関心を持っていったそうです。それが数年前に御主人を亡くされて心境の変化があり、このボランティアへの参加を決意されました。ボランティアに参加するために3年前から、熊本学園大学の社会福祉学部社会福祉学科に入学され、毎日芦北から通学。3年次の在学中に派遣されることとなりました。2年間の派遣期間中は、休学し、帰国後、復学されるそうです。

元村さんは、パラグアイ共和国の首都アスンシオンを拠点に、日系高齢者の健康づくり、婦人会のコミュニケーションづくり、障害者の作業療法など、レクリエーションを通じて福祉活動を行うことと



なっています。

表敬を受けた竹崎町長は「新しいことを何かやろうと思うことは簡単ですが、いざ実践となると容易なことではありません。今回の元村さんの活動は多くの方々の励みになります。親善大使としてその役割を果たしてほしい」と激励しました。元村さんは「身の丈にあった仕事をしたい。日系の高齢者の方々と接することによって自分も学びたい。」

それを持ち帰って芦北の子供たちに伝えたい」と抱負を述べられました。元村さんは、日系高齢者の方のために「ツケ玉」「下駄菓子」「お茶」「メッソージ付の5円玉」をお土産として持っていました。

芦北町から6人の方が青年海外協力隊員として派遣されていますが、日系社会シニア・ボランティアとしての派遣は初めてとなります。

韓国からの研修員紹介

呉 玲慶（オウ ヨンギョン）さん

韓国からの研修員、呉 玲慶さんに、6月24日、役場応接室において、竹崎町長から自治体職員協力交流研修員としての委嘱状が交付されました。総務省と自治体国際化協会を通して本町に赴かれた呉さんは、大邱（テグ）広域市の職員で、総合建設本部報償課に勤務されていました。

呉さんは、太宰治の「人間失格」（韓国語訳）を読んで日本の小説に興味を持ち、放送通信大学で日本語を学ぶようになり、日本語能力試験1級を2002年に取得。そのころから日本に行きたいと思い、3年間、日本研修のチャンスをうかがっていたそうです。

本町では、来年2月まで、町企画財政課において行政一般について研修されます。呉さんは「芦北町のまちづくり、生涯学習、情報公開に関心があります。日本文化も学びたいです」と研修の抱負を述べてくれました。

呉さんは、日本語能力1級の資格をお持ちですが、「芦北弁が難しい」と話していますので、勉強のためにも声を町民の方には是非掛けていただきたいと思います。



●●● くまもと歯の健康文化賞受賞 ●●●

6月の歯の衛生週間に併せて、歯の衛生に関する正しい知識を普及し、虫歯や歯周病などの早期治療や予防をしてもらおうと開催された「歯の祭典」で、芦北町が「くまもと歯の健康文化賞」を受賞しました。今回の受賞は、芦北町が取り組んでいる乳幼児から高齢期までの全ライフステージに応じた歯科保健衛生活動の実績が認められたものです。

平成11年に創設されたこの賞は、歯科保健衛生向上及び推進にすぐれた業績を挙げた個人又は団体を表彰するもので、県と県歯科医師会などで作る「くまもと歯の健康文化賞表彰委員会」が主催。市町村の表彰は芦北町が4団体目となります。

水俣・芦北郡市歯科医師会会長の野村歯科医院院長にむし歯予防のポイントなどについて伺いました。

歯は、細菌（歯垢）、砂糖、歯の質の3つの要素が重なってむし歯になります。1つでもその要素を取り除くことで虫歯を予防することができます。

要素1 細菌（歯垢）

- ・食べたらずくに歯を磨く。
- ・寝る前に必ず歯を磨く。
（夜は、唾液の分泌が少なくなり、歯垢を洗い落とすことができなくなる。）

要素2 砂糖

- ・砂糖の入ったものを取り過ぎない。
（口の中に砂糖類が入っている時間が長いほど、細菌が酸を出す時間が長くなりむし歯が発生しやすくなるため、摂取の間隔を空ける。）
- ・代用甘味料を使用する。

要素3 歯の質

- ・歯科医院でフッ素を塗布する。



野村歯科医院院長（右）

45歳ごろから、歯が全くなくなる人が出てきます。これには、20代からの歯の手入れが大きく影響します。個人の状況に応じて違いますが、虫歯のない人でも年に1回は歯科医院で定期検診を受けましょう。（歯を失う原因の1つは歯周病です。歯周病の場合は医師と相談し定期的に検査しましょう。）また、むし歯菌は、お母さんから子供へ感染します。お母さんの口の中を清潔に保つことで、むし歯菌がうつりにくくなります。

むし歯は、感染症、生活習慣病です。日常生活の中でしっかり歯の手入れをして、8020（80歳で20本が自分の歯）を目指しましょう。



杉島さん御夫婦

高齢者のよい歯のコンクール 夫婦で8020

自分の歯が20本以上ある80歳以上の高齢者（8020）を対象とした「高齢者のよい歯のコンクール」県大会において、杉島チヨノさん（小田浦2）が「熊本県歯科医師会賞」を受賞しました。

82歳の杉島さんは、28本全てが自分の歯で、秘訣は特にないということですが、朝は塩で歯を磨き、毎日牛乳を飲まれているそうです。また、御主人も平成8年に同賞を受賞されており、91歳となった現在も20本以上自分の歯です。御夫婦揃ってめでたく8020を達成されました。

6月のできごと

6/3

大野小カンボジア募金米づくり体験授業

「食を知って、国際貢献」と銘打って、一貫した稲づくりによる「食育」と収穫された米を販売しカンボジア学校建設募金に協力することを目的に、JAあしきた、芦北町国際交流協会が共催しました。

大野小学校付近の坂梨優さん所有の水田（12アール）に、児童や関係者約100人が集まり、水田に張られた綱を目印に丁寧に手植えをしました。初めて田植えをした児童は「疲れたけど楽しかった」と感想を述べてくれました。

田植え体験の後、JA女性部から団子が振る舞われ、児童たちは、自分が植えた稲を眺めながら団子に舌鼓を打ちました。



大野小近くの水田で田植えをする児童

6/16

交通安全子供自転車芦北地区大会

しろやまスカイドームで開催されたこの大会は、競技を通じて交通知識の正しい認識と、交通事故の防止を目的に開催されたもので、町内の4校から7チームが参加しました。

児童は、筆記試験と実技に臨み、実技では、一本橋、S字、ジグザグ走行等の難しいコースにチャレンジしました。結果、田浦小Aが優勝。昨年も田浦小学校チームは、県大会で優勝し全国大会に出場しており、7月に開催される県大会での活躍が期待されます。

団体の部

優勝 田浦小A、2位 田浦小B、3位 湯浦小A

個人の部

優勝 横田佑弥君（田浦小6年）、2位 松崎佑輔君（田浦小5年）、3位 藤崎瑠美さん（田浦小6年）



難関のジグザグ走行にチャレンジする児童

6/20

南極の氷体験学習

佐敷中学校で南極の氷を使った体験学習が行われました。

砕氷船「しらせ」が持ち帰った南極の氷4㌔を自然環境の学習に役立ててもらおうと、自衛隊熊本地方連絡部が同校に寄贈を計画。同校の要請で体験学習を行うこととなりました。

会場となった同校の体育館には、2年生の生徒約80人が集まり、南極観測隊隊員の生活の様子や南極の自然などを記録したビデオを見た後、南極の氷と冷凍庫で作った氷を使って実験を行いました。溶けるときに氷に閉じ込められた数万年前の空気がプチプチと弾ける音を聞いたり、ピーカーに水を入れ実際に氷に空気が閉じ込められていることを確かめていました。中には、南極の氷を味わって見る生徒もいるなど、南極に思いをはせながら楽しく体験学習を行いました。



南極の氷と冷凍庫で作った氷の違いを確認する生徒

芦北町が総合優勝

水俣市・葦北郡各町対抗
陸上競技大会

第33回水俣市・葦北郡各町対抗陸上競技大会が6月5日、津奈木町総合グラウンドで行われ、芦北町が総合優勝、芦北町の選手は多くの上位入賞を果たしました。

◆総合成績

優勝 芦北町

2位 水俣市

3位 津奈木町

◆一般の部

優勝 芦北町

2位 津奈木町

3位 水俣市

◆中学生の部

優勝 芦北町

2位 水俣市

3位 津奈木町

◆小学生の部

優勝 芦北町

2位 水俣市

◆個人成績

優勝者(敬称略)

100m 中学1年女子

吉田 治代(女島西)

100m 中学2年女子

中尾 由衣(計石東)

100m 中学3年男子

木村 佑貴(計石西)

100m 小学3年女子

鎌本 千優(乙千屋)

100m 小学6年男子

丁 将広(乙千屋)

100m 一般女子35歳以下

荻下 亜樹(田浦町2)

100m 一般男子60歳以下

白菊 繁美(花岡東)

400m 一般男子29歳以下

森山 泰宜(小田浦1)

3000m 一般男子30歳以下

宮島 誠一(花岡北)

400m リレー 小学生男子

岡田 佳樹(小田浦5)

桑田 大地(芦北)

藤江 恭輔(小田浦5)

丁 将広(乙千屋)

400m リレー 一般男子50歳以上

松永 純志(丸山)

山口 繁美(花岡東)

白菊 博(平生)

800m リレー 一般男子29歳以下

一田 貴臣(市野瀬)

藤井 省吾(豊岡)

井川 大介(湯浦南)

森山 泰宜(小田浦1)

走高跳 一般女子34歳以下

山本 華子(湯浦南)

砲丸投 一般男子60歳以下

水口 宣之(大岩二)

砲丸投 一般男子29歳以下

本田 直樹(新町)



100m一般男子60歳～69歳で優勝した白菊選手のレース(右から2人目が白菊選手)

町民体育祭

◇グラウンド・ゴルフ大会 7/3

(湯浦川河川敷公園)

男子 優勝 湯浦体協

2位 佐敷体協

3位 大東体協

女子 優勝 湯浦体協

2位 佐敷体協

3位 田浦体協

◇バレーボール大会 7/3

(しろやまスカイドーム)

男子30歳以上の部

優勝 湯浦体協

2位 佐敷体協

3位 大東体協

男子フリーの部

優勝 大東体協

2位 佐敷体協

3位 田浦体協

女子の部

優勝 田浦体協

2位 佐敷体協

3位 湯浦体協

◇クレイ射撃大会 7/3

(湯浦温泉射撃場)

団体の部 優勝 湯浦体協

2位 佐敷体協

個人の部

優勝 野口行夫(佐敷体協)

2位 宮本 忍(湯浦体協)

3位 福山 統(湯浦体協)

◇ボウリング大会 7/3

(芦北ボウル)

団体の部 優勝 佐敷体協A

2位 湯浦体協A

3位 佐敷体協B

個人の部

優勝 堀田浩毅(佐敷体協)

2位 井川達也(湯浦体協)

3位 田代 忍(大東体協)

◇卓球大会 7/3

(農村環境改善センター)

団体の部 優勝 田浦体協A

2位 佐敷体協A

3位 湯浦体協A

個人の部 男子

優勝 上野誠樹(田浦体協)

2位 元山正徳(田浦体協)

個人の部 女子

優勝 白坂すが子(湯浦体協)

2位 元山貴美香(田浦体協)

個人の部 45歳以上OB

優勝 橋本輝久(湯浦体協)

2位 島本睦男(田浦体協)

◇バドミントン大会 7/10

(しろやまスカイドーム)

優勝 佐敷体協A

2位 湯浦体協B

3位 佐敷体協B



告地区地籍調査推進委員 委嘱状交付式

平成17年9月から告地区（調査面積8.01km²）の地籍調査が行われることに伴い、地籍調査事業推進委員が任命されました。

その委嘱状交付式が6月30日、役場で行われ、竹崎町長が「1日も早く告地区の地籍調査事業が完結しますよう御協力をお願いします」とあいさつ。委員を代表して藪博人さんが「山林が多い地域です。健康とケガに注意して取り組んでいきたい」と話されました。

任命された委員は次のとおり。（敬称略）

西告…藪	博人、山下	敬治、梶原	英夫
	宮本	和市、漆前	義幸、宮原
	宮原	武守、漆谷	美之、平井
	平田	次男、平尾	勝、平岩
東告…告宮	敏夫、告畑	佐一郎、川口	常喜
	川口	廣志、告川	茂、告口
	告鋤	信男、告馬	ナツエ、鎌原
	鎌地	康信、鎌倉	大吉、鎌倉
			政義



西告地区代表で委嘱状を受け取る藪博人さん

芦北警察署協議会 第3期委員に委嘱状を交付

6月16日、芦北警察署で芦北警察署協議会第3期（任期 平成17年6月1日～平成19年5月31日）の委員に委嘱状が交付されました。

芦北警察署長から熊本県公安委員会の委嘱状を受けた後、同署会議室において、平成17年第2回目の協議会が開催されました。

警察署協議会は、警察法の規定により「警察署の管轄区域内における警察の事務処理に関し、警察署長の諮問に応じるとともに、警察署長に対し意見を述べる機関」として、平成13年から始まった制度です。

今回委嘱を受けた委員は次のとおり。（敬称略）

会長	宮本	則男（花岡西）
幹事	森田	光一（向町）
委員	黒田	宏信（海浦1）
委員	篠原	紀男（豊岡）
委員	西村	文美（小田浦5）



委嘱を受けた委員のみなさん

地域づくりを 職員がサポート

7月1日、まちづくり支援事業地区担当職員の委嘱交付式が行われました。

この事業は、旧芦北町で実施された「まちづくり推進総合支援事業」の内容を見直し、平成17年度から平成19年度までの3年間、地域の特性を生かした地域づくりをソフト面で支援する事業です。

式の中で竹崎町長は「地域の資源を掘り起こし、個性の光る活力あるまちづくりを目指し、精一杯努力していただきたい」とあいさつ。町内の85行政区に担当職員を配置し、事務手続きなどをサポートします。



代表で委嘱状を受け取る市川主事

軽自動車税の納税義務者が死亡したら

軽自動車税は、毎年4月1日現在車両を所有している人に対して課税される税です。車両の名義人（納税義務者）が死亡された場合は、名義の変更手続きを速やかに行なうか、使用しない場合は廃車手続きを行なってください。

なお、手続場所は車種によって異なります。下表を参考にしてください。

車 種		年税額	申告（手続き）場所
原 動 機 付 自 転 車	50cc以下	1,000円	役場税務収納課 固定資産税係（本庁舎） TEL(0966)82-2511（内線124） 田浦基幹支所 住民総合班 TEL(0966)87-1111（内線117）
	90cc以下	1,200円	
	125cc以下	1,600円	
小 型 特 殊 自 動 車	農耕用	1,600円	熊本運輸支局 熊本市東町4-14-35 TEL(096)369-3189
	その他	4,700円	
二輪の小型自動車		250cc超	4,000円
軽自動車	二 輪	250cc以下	2,400円
	四 輪 乗 用	営業用	5,500円
		自家用	7,200円
	四 輪 貨 物	営業用	3,000円
		自家用	4,000円

※お問い合わせは、

役場税務収納課 固定資産税係（本庁舎） ☎ 8 2 - 2 5 1 1（内線 1 2 4）
田浦基幹支所 住民総合班 ☎ 8 7 - 1 1 1 1（内線 1 1 7）

消費税納税資金の備蓄を

納税は社会の基本的なルールです。

特に、消費税及び地方消費税は、消費者からの「預かり金的な性格」を有する税金ですので、期限内に確実に納付してください。

納税資金の準備に当たっては、毎日又は毎月の売上げの中から、消費税及び地方消費税に相当する分を積み立てるなど、日ごろから納税資金の備蓄に努めましょう。

なお、納期限内に納付がない場合には、本税のほか、完納日までの延滞税も合わせて納付しなければなりませんから御注意ください。また、納税についてお分かりにならないことがありましたら、最寄りの税務署や税務相談室にお気軽にお尋ねください。

※お問い合わせは、

八代税務署 ☎ 0 9 6 5 - 3 2 - 3 1 4 1
税務相談室八代分室 ☎ 0 9 6 5 - 3 5 - 1 1 7 1

お知らせ

水俣芦北広域行政事務組合消防本部職員採用試験

- ◇試験職種 消防（高校卒業程度）
- ◇採用予定数 1人程度
- ◇受験資格 昭和56年4月2日から昭和63年4月1日まで生まれた者
- ◇受付期間 7月25日（月）～8月12日（金）
（郵送の場合は当日消印有効）
（8時30分～17時00分、土・日を除く）
- ◇申込方法 申込用紙（消防本部総務課にあり）
ます）に必要事項を記入して、水俣芦北広域行政事務組合消防本部総務課へお申込みください。
- ◇試験日時 9月18日（日）
8時30分集合

◇試験会場 津奈木町農業就業改善センター2階 研修室

※お問い合わせは、
水俣芦北広域行政事務組合
消防本部総務課

☎6311191

小児救急電話相談

夜間におけるお子様の急な病気への対処や応急処置などを相談できる窓口です。

相談員がお子様の様子をお伺いし、対応方法などの助言を行います。ただし、電話による限られた情報に基づく助言ですので、あくまでも相談される方の御判断の参考としてください。

◇相談時間 毎日19時～23時

固定電話のプッシュ回線の場合

☎#（シャープ）8000

携帯電話・ダイヤル回線の場合

☎09613641999

消費生活トラブル相談

平成16年度に県消費生活センターに相談のあった件数は、過去最高の16,864件となり、前年度に比べ521件増加しました。

このうち、芦北・水俣地区では、

322件の相談があり、相談件数の上位は、電話等有料情報サービス129件、サラ金・クレジット等78件、商品一般17件、資格取得講座等8件、健康食品7件となっています。年々増加し続けるトラブルを減少させるには、どんな場合でも家族、知人に相談し、ゆつくり考える心のゆとりを持つことが大切です。

※相談問合せ先

熊本県消費生活センター

☎096135414835

法律無料相談会

熊本県弁護士会では、日本弁護士連合会ひまわり基金八代公設事務所開設を記念して無料相談会を実施します。

金銭貸借問題、離婚問題、相続問題などあらゆる法律相談に応じます。なお、当日は時間が限られていますので、電話予約が必要です。

（1人30分程度、先着6人まで）

◇期 日 7月26日（火）

◇時 間 13時～16時

◇場 所 芦北町社会教育センター
和室

◇予約受付時間 8時30分～17時

※予約及びお問い合わせは、

役場総務課総務係（本庁舎）

☎8212511（内線214）

熊本県環境センター 8月開催イベントのご案内

【夏のスターウォッチング】

夏の代表的な星座の白鳥座、さそり座、いて座や天の川などを、天体望遠鏡や双眼鏡を使って観察し、大気汚染や光害を考えます。

◇期 日 8月6日（土）

◇時 間 19時～22時

◇場 所 熊本県環境センター

◇対象者等 一般、親子（100人）

◇申込期限 8月4日（木）

◇参加料 無料

【水と生き物】展

◇期 日 8月2日（火）

～8月31日（水）

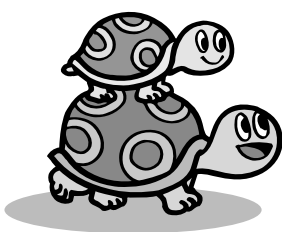
◇内 容

県内の川や湖に住む盛り沢山の魚、カメ、イモリなどの生体を展示する水族館

※お申込及びお問い合わせは、

熊本県環境センター

☎6212000



お誕生おめでとう



H17. 6. 1～6. 31 受付分

(敬称略)

名 前	出生日	性別	保護者	行政区
宮崎 幸 ^{さち}	5.24	女	潤	田 浦 1
高田 蒼 ^{そう}	5.24	男	一 博	湯 浦 南
山下 結羽 ^{ゆい}	5.30	女	和 哉	向 町
松葉 鈴 ^{りん}	6. 2	女	孝 雄	湯南団地
上口 漣 ^{れん}	6. 2	男	貴 広	本 町
窪田 大翔 ^{ひろと}	6. 3	男	秀 人	乙 千 屋
山本朱寿子 ^{すこ}	6. 3	女	賢一郎	波 多 島
鳥江 一牙 ^{かずさ}	6. 7	男	陽 介	芦 北
長島 茜 ^{あかね}	6. 8	女	清 貴	花 岡 東
千原 大和 ^{やまと}	6.10	男	健 二	田浦町3
宮内 愛理 ^{あいり}	6.16	女	貴 光	白 岩
野田 勇気 ^{ゆうき}	6.17	男	勇 也	諏 訪
渡邊 涼花 ^{りょうか}	6.19	女	由 彦	田浦町3
吉永 新汰 ^{あらた}	6.22	男	亮 介	湯南団地

ご冥福をお祈りします



H17. 6. 1～6. 31 届出分

(敬称略)

死亡日	亡くなられた方	年 齢	行政区
6. 1	金 功	89	女 島 西
6. 4	矢野 秋人	79	湯 浦 東
6. 6	篠原 怜	76	向 町
6. 9	中村 アヤ子	81	白 岩
6.13	田上 熊次	91	国 見
6.13	宮口 タツエ	81	宮 浦
6.15	徳永 佐市	79	大 岩 一
6.16	田中 ササエ	89	海 浦 1
6.17	木藤 ステ	89	湯 浦 南
6.17	平生 ヒサエ	81	平 生
6.18	橋本 壯	84	大川内南
6.19	山本 ツタヨ	88	簸 瀬
6.25	高野 潤一	78	小田浦5

※本町窓口へ届出を出された方で、掲載の承諾を得た方を掲載しています。

人口のうごき (H17.7.1現在)

()内は前月比

人 口	21,658人	(一 1)
男	10,142人	(十 4)
女	11,516人	(一 5)
65歳以上	7,006人	(十 7)
高齢化率	32.3%	(十 0)
世 帯 数	7,633世帯	(一 3)

俳 柳

稲苗のみどり撫でゆく青嵐

杉村 さの

古人らの苦勞偲ぶや棚田石

吉田 茂

戯れる仔犬にそそぐ五月の陽

山本 峰子

みはりだ
水張田に山陰映し峡暮るる

一森 嘉市

早苗田の水面に揺れる新幹線

倉永 敏弘

短 歌

枇杷の新葉探し求めて山歩く打ち身に利くとの母の頼みに

溝口 陵子

黄牡丹の花の咲きたる夕餉には牡丹のようなオムレツ作る

野村れい子

大岩に赴任せし日に満開の桜未だし開校式に

満田 圭一

藤棚に切なきまでの純白の花房揺れて人の恋わるる

福田 芳子

ざっくりと包丁入れし朝握りの筍厨に香りを放つ

山下 忠子

向い合い座席につきし通学生我を無視してメール交換

田中佐智子

多機能を利用し得ざる脳なれば私の携帯通話のみなる

宮島 往子

登校の孫ちらちらと青葉ごし窓辺に見ゆる動きに安堵

四宮 和江

花びらを数える間なく次々に咲きて散りたる白き石楠花

四宮美佐子

雨のあと新緑かがやく青き空水面に写り田植はじまる

馬場 泰子

ビーチで熱戦

第18回ビーチバレーインくまもと

広報あしきた

2005 7月
No.7



7月10日、鶴ヶ浜海水浴場、芦北マリンパークビーチで「第18回ビーチバレーインくまもと」が開催され、熱戦を繰り広げました。



大歓声の葦北鉄砲隊の祝砲演武

協会の北町、熊本市、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿儿岛県、沖縄県、各都道府県の代表選手が参加し、激しい試合が行われました。大会は、7月10日（土）と11日（日）の2日間、鶴ヶ浜海水浴場、芦北マリンパークビーチで開催されました。大会は、男子4人制、男子2人制、女子4人制、女子2人制の4種目で行われ、各都道府県の代表選手が参加し、激しい試合が行われました。大会は、7月10日（土）と11日（日）の2日間、鶴ヶ浜海水浴場、芦北マリンパークビーチで開催されました。



今年も強かった「骨・骨A」（オレンジのユニフォーム）

今大会から2つの特別賞が設けられ、「出水ピンコ」チームがベストドレッサー賞、「ナッシーズII」がベストパフォーマンス賞を受賞しました。

各部門の決勝結果は次のとおり。

◇男子2人制 マシーンス 21-12 亀仙人	◇男子4人制 FMスリー 21-16 FCO
◇男女混合4人制 りんりん 21-15 秋葉ヶ	◇女子4人制 骨・骨A 21-11 miffy



試合終了後、大会に出場した慶誠高校の生徒たちが、エコフラッグの旗の下、自主的にビーチクリーンを行ってくれました。



ベストドレッサー賞を受賞した「出水ピンコ」

平成17年7月15日発行
発行／芦北町役場 編集／企画財政課
印刷／（資）秀文社印刷所

〒889-5498 熊本県葦北郡芦北町大字芦北2015
TEL (0966) 82-2511 / FAX (0966) 82-2893
http://www.asnikita-t.kumamoto-sgn.jp